



「集大成」

校長 おぎはら ひろし
萩原 洋

初春の折、皆様にはお健やかに過ごしのことと存じます。2月28日(火)千葉市の最高気温が17度を記録し、春がもうそこまで来ていると感じるとともに、旅立ちの日が近づいてきたことを感じています。

本校においては、新型コロナウイルス、インフルエンザ等による学級、学校閉鎖等の措置をとらずにここまで教育活動を進めてくることができました。保護者の皆様に改めて感謝申し上げます。

さて、2月を振り返ってみると、2日(木)に第40回千葉市中学校特別支援合同予餞会が市民会館で実施され、幸の木学級の生徒が参加してきました。「よさこいソーラン」で自作の鳴子を用いてステージ上で一生懸命な踊りを披露してくれました。7~9日(木)には、2年生の自然教室があり、天候に恵まれスキー学習、キャンプファイヤー等の行程を予定通り実施することができました。到着後のバス降車時には多くの笑顔が見られたのがとても印象的でした。21、22日(水)には、3年生の公立一般入学者選抜(全日制の倍率は、1.12倍)が実施され体調不良者もなく2日間の受検に臨むことができました。(合格発表は3/3)

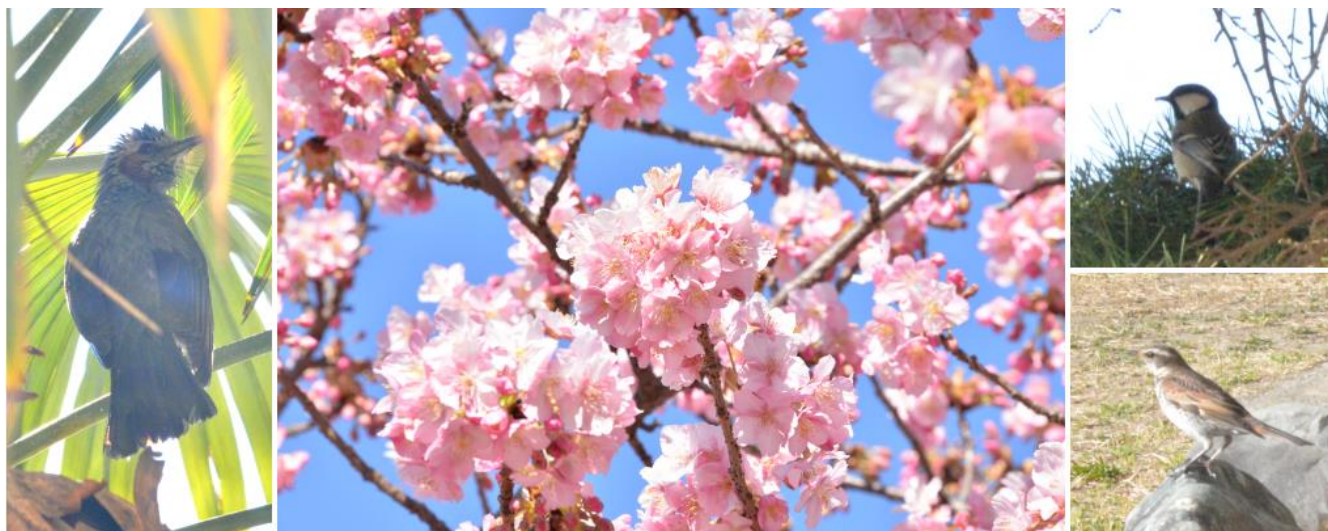
「一流」とは、ある分野において第一等の地位の人。昨年11月に、サッカーワールドカップカタール大会が、日本代表、世界のスーパースターの活躍で盛り上がったのは記憶に新しいところです。今度は、野球3/9第5回WBCが開幕します。連日スポーツニュースで取り上げられない日はないほどの盛り上がりを見せています。私も一野球ファンとして、一流プレイヤーの真剣勝負を楽しみにしています。本校、国語科伊丹先生の作品が第34回「教職員新春展」美術・書道の部に選ばれ、先日まで千葉市教育会館に展示されていました。現在、本校1階和室前に展示中です。是非一度、「一流」の作品を鑑賞してみてください。

いよいよ、集大成の3月を迎えます。2日(木)の3年生を送る会では、1、2年生には、これまでお世話になった3年生への感謝の思いを伝えてほしいと思います。3年生は、10日(金)の卒業証書授与式が、みんなで参加する最後の授業です。3年間の集大成の行事として最高のものになるように頑張っていきましょう。

和室前に展示中の伊丹先生の作品です ▶



ギャラリーさいわい 学校の風景を毎月お届けします。



暖かな日がつづく中、鳥たちも一層活発に動いているようです。写真左はヒヨドリで、どうやら池で水浴びをした直後らしく、全身が濡れています。右上はシジュウカラです。時折、校庭に降りることもありますが、木の上において鳴いていることが多く、姿は見えなくとも声は聞いたことがあるのではないのでしょうか。右下はツグミで、校庭に降りてくることも多く、体育のない時間にしばしば見ることができます。この日は姿を見せませんでした。他にもオナガなども校庭に姿を見せます。

さて、体育館前の寒緋桜（かんひざくら）が五分咲きになっています。明日2日の3年生を送る会、10日の卒業式を予め祝うかのようです。振り返れば、全国の学校が一斉休校の中で小学校を卒業し、6月に入学式を行った今年の3年生が、（歌唱のときのみマスク着用とはなりますが）かなり規制が緩和された状態での卒業式を迎えられることは感慨深いものがあります。おそらく満開になるであろう寒緋桜のように、卒業生が希望にあふれて巣立ってくれることを願うばかりです。

☆校内向けの記事を割愛して掲載しています。